
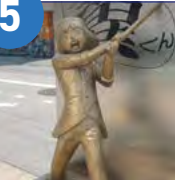


6 岬太郎銅像





あらゆるプレーを芸術的にこなす“フィールドのアーティスト”。小学生のころから大空翼と高次元の連係プレーを披露し、「ゴールデンコンビ」として注目を集めた。
渋江公園（東立石3-3-1）

5 中沢早苗銅像



学ラン姿の応援団長は、大空翼に一目ぼれして以来、「フアイト翼くん」の大旗を振ってどんなときでも全力応援。中学時代はマネージャー、将来は妻として翼を支える。
葛飾郵便局前（四つ木2-28-1先）

4 ロベルト本郷&大空翼銅像



元ブラジル代表の日系ブラジル人であり、大空翼にサッカーの魅力や楽しさを伝えたロベルト本郷。物語の序盤で2人は出会い、ロベルトは翼の成長を見守った。
めだかの小道（四つ木2-3-3先）

3 大空翼銅像



「ボールはともだち」を信条とする大空翼の活躍を描いた作品は、日本サッカー界の発展に大きく貢献。海外の有名サッカー選手にも『キャプテン翼』ファンが数多くいる。
四つ木つばさ公園（四つ木1-22-3）

2 日向小次郎銅像



豪快なドリブル突破と強力なシュートを武器とするストライカー。その闘志あふれるプレーから“猛虎”と呼ばれ、「タイガーショット」をはじめ、多くの必殺技を持つ。
四つ木公園（四つ木1-16-24）

1 石崎了銅像




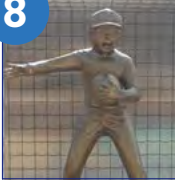
主人公・大空翼が物語のなかで最初に出会う仲間が石崎了。ガッツあふれるプレーでチームに貢献。相手のシュートを弾き返す「顔面ブロック」は彼の代名詞。
四ツ木駅前ポケットパーク（東四つ木4-15-10先）

7 大空翼銅像（ヒールリフト）





ヒールリフトとは、両足で挟んだボールを背後で浮かせ、かかとで高く蹴り上げて目の前の相手をかわす技術。大空翼の得意技で、作品中の重要なシーンでも使われている。
立石一丁目児童遊園（立石1-21-6）

8 若林源三銅像



大空翼の前に現れる最初のライバルであり、その後はともに日本一を目指す南葛SCのチームメートである。[S.G.G.K（スーパーグレートゴールキーパー）]の異名をとる。
立石みちひろば（立石4-28-14先）

9 大空翼銅像（ツインシュート）



大空翼と岬太郎の「ツインシュート」を再現。高橋陽一先生の母校、東京都立南葛飾高校の校門脇に設置された銅像。翼の相棒としてともにシュートを放とう。
東京都立南葛飾高等学校正門横（立石6-4-1）

“キャプテン翼ゆかりの地”を楽しもう!

キャプテン翼

銅像めぐりマップ 四つ木 立石



マップの見方

- マップには、『キャプテン翼』の特別装飾が施されている四ツ木駅をスタート地点とし、9つの銅像をめぐるおすすめルートが掲載。
- ⑨のマークは、銅像が設置されている場所を示しています。銅像ごとのQRコードを読み取ると、それぞれの設置場所が確認できます。歩行中のスマートフォン等の使用はやめましょう。
- ピンクの網かけは商店街です。

※地図は「葛飾観光ガイドマップ」(2020年3月発行)のデータをもとに制作しています。